

「エッセンシャルズ」シリーズとは何でしょうか？

霊的成長と倍加の「エッセンシャル」とは、スモールグループディスカッションのシリーズです。学生達ができるだけ早く、キリストにあって成長し、ミニストリーと倍加に巻き込まれてくることを助けるために、この教材はデザインされています。「生き方が変えられること」と「神について話すこと」の二つが、霊的倍加のムーブメントが起こってきていることの目に見える証拠です。24 レッスン全てから、学生達は自分達の生き方が変えられるのを見ることと、他の人に自分の学んだことを伝えるように促されます。

このシリーズはまた、今日の学生達がとても理解しやすく、使いやすいようにデザインされています。ある第二世代のグループリーダーがこう言いました。「これはすごく簡単だよ。誰だって導くことができる。」使いやすく他の人へ簡単に伝達できるわけは、今日の学生に関して鍵になる二つの現実を、計算に入れているからです。

- 1、彼らは哲学的には「ポストモダン」です。
- 2、彼らは「二義的文盲者(oral learner)」です。つまり彼らは読むことができますが、読書から学ぶということを好みません。

「エッセンシャルズ」は、聖書の真理を理解するため、体験、ストーリー、ディスカッションに焦点があてられています。教えるために聖書学者となる必要がありません。なぜなら、リーダーの役割は、一緒に真理を発見できるようにグループを導くことだからです。グループメンバーは、祈って、このみことばは何を言おうとしているのか、どう自分達の日々の生活に適用できるのかをよく考えるのです。

「エッセンシャルズ」は伝道と弟子訓練の戦略ですが、今まであなたが使ったことがある、多くの他の戦略とは異なった働きをします。学生達がすでに大学でもっている自然な人間関係を通して、浸透してゆくのです。第二、第三世代グループを作るのに、大規模な宣伝をする努力はあまり必要ありません。その代わりに新しいグループリーダーは、自分の友達や知り合いに「参加しない？」と尋ねればいいのです。誘われた人が、その新グループリーダーの人生の変化とキリストへの熱意にあらかじめ気付いているなら、もっと理想的ですが。

どこで、どのように開発されたのでしょうか？

「エッセンシャルズ」は、中央フロリダ大学 (UCF) で開発されました。そこは、普通の基準で計れば、CCC のミニストリーは成功している大学でした。400 人が毎週の集会に出席し、100 人がクリスマスカンファレンスへ行き、30 人が夏の短期宣教に参加していました。

しかし、キャンパスディレクターのディビット・ペゾーリと彼のチームはある重要なチャレンジに直面していたのです。この大学はマンモス校で4万5千人の学生がおり、内2万人が学部生です。ほとんどの学生がキャンパスの敷地外に住んでいました。学生達の多くは5～15人のとても親しい友達グ

グループに自分の居場所を見つけていました。想像つくと思いますが、組織的なアプローチによってこれらのグループを見つけていくのは簡単ではありませんでした。

そこで、すでにある自然な機会を利用できる、もっとはっきりした実質的なアプローチが、必要とされていたのです。ランダムでアンケートを取る方法はあまりうまくいかなかったので、もっと会話できるミニストーリー（例えば、授業後の人々に出くわすなど・・・）に焦点を合わせようとしていました。

キリストを信じる学生がいたり、生き生きしたクリスチャンが見つかったりすると、それは彼らの友達グループに福音が持ち帰られてゆく、大切な機会となりました。そのことが現実になるために、以下の二つのコミットメントが求められました。

- 1、堅固なクリスチャンライフを送り、自分のグループの他の人に仕えることができ始めるために、素早く効果的に人々を整える。
- 2、新しい人たちを「CCCの世界（毎週の集会や他の活動）」に引っ張ろうとしない。そうでないと、友達グループ内にインパクトを与えられる前に、そのグループから抜け出てしまうことになる。

これらのコミットメントにより、新しい人々を以前よりも早いペースで、もっと意図的に弟子訓練する必要が出てきました。神と歩むことと、いくつかのクリスチャンの土台となる習慣、仕えることを全部ひっくるめて、一つの学期で身につけられることを標準としたのです。大胆不敵に聞こえるかもしれませんが、必要は現実のものであり、そうすれば友達グループに届く良いチャンスになったのです。

素早い弟子訓練を妨げることの1つは、学生達の自然な学習スタイルを十分に計算に入れることに、失敗することです。彼らは講義を聞くよりも、もっとたくさんのディスカッションをして学びたがっていました。要点の一覧表よりも、ストーリーを好みました。私たちが「これをしなさい」と命令するよりも、適用と分かち合いに対してもっと心が開いていました。

これら全てによって、「霊的成長と倍加のエッセンシャルズ」シリーズ企画の開発が導かれました。2005年9月、ディビッド・ペゾーリと、バイブルスタディを導いている学生リーダー四人と私は、CCCが何年もかけて洗練してきた「きわめて重要な（エッセンシャル）」内容から始めました。しかし私たちは、学びたくなるようなもっと人を引き付ける方法を試し、常に学生リーダー達からのフィードバックを求めてきました。開発されたものはあまりに使いやすかったので、学生リーダー達は最初の12セッションに続く、もう12セッションを開発するよう私に強要しました（「私にはCCCを導くという本業がある」と言う私の反対は押し切られた）。その内の二人の学生リーダー達は、次のセッションが開発されるまで、第一ヨハネの手紙の学びも同じ形式に転換してやってみて、とても喜んでいました。

数的な結果を言うならば、2005年9月にもともと計20-25人の学生達が関わっている二つの小グループが始まりました。2006年1月末までに、35人の学生が関わるまでに成長し、四つのグループに分かれました。もっと大切なことは、もともとの二つのグループから、12人の学生達が自分

のグループで教えることに関わり始めたのです。四つの新しいグループは(チームで教えたのですが)、リーダー達を除く25人が関わりました。第二世代のグループのあるメンバーは、関わり始めてたった数週間のうちに、「自分の寮でも何か始めたい」という願いを表したのです。

2006年の秋、21グループが作られました。2007年の2月までに、合計290人が加わっている35グループになりました。この数字はUCFの全学部学生の1.5%を占めています。エミリーという第二世代のグループリーダーは、こうコメントしています。「ケビンと私のグループは、上手くいっています。今6人いますが、私はもうすぐ彼らが自分たちのグループを導き始めるのが見えます。」2007年4月までに、二人の強い第三世代のリーダーが秋までに自分達のグループを始めることに献身しました。

どんな内容でしょう？

「エッセンシャルズ」シリーズは、4セッションからなる6グループから成り立っています。各グループは、単独に教えることができますが、信仰について、あるいはCCCについてあまり知らない新しいクリスチャンには順番通りにやっていくのが良いようです。

パート1：(クリスチャンライフとCCCミニストリーについてのDNA)

4 Walks

- ・ 救いの確信を得る
- ・ 神の赦しを体験する
- ・ 聖霊に満たされる
- ・ 神と絶え間なく歩む

4 Talks

- ・ 聖書を学び、適用する
- ・ 祈る
- ・ ノンクリスチャンに証しする
- ・ クリスチャンと親しい関係を築く

4 Ministries

- ・ 愛に気づくことがミニストリーの土台
- ・ 救霊
- ・ 育成
- ・ 派遣

パート2：(より深く、神を知り、応答する)

4 Facts (イエスキリストについて)

- ・ 神
- ・ 人
- ・ 救い主
- ・ 仕える人

4Helps (聖霊によって与えられる)

- ・ 力
- ・ 真理 (靈的に何が正しいか分かる)
- ・ 平安
- ・ 言葉 (ミニストリーで何を言ったらいいか)

4Attitudes (父なる神に対してとるべき態度)

- ・ 信頼する
- ・ 愛する
- ・ 従う
- ・ 自分に与えられているものを、神の計画のためによく用いる

UCF で、一学期以内にクリスチャン達に信仰とミニストリーの基礎を築き上げる必要があると感じていたと前述しました。それゆえ、パート1は「基礎」的な内容です。その「一気に進むコース」の後、やはり、神との関係をより深めてゆくことが最善に思われました。それで、パート2は短時間の応用神学コースです。神格の一つ一つの特徴を描いてゆきます。グループメンバーは、イエス・聖霊・父なる神に対してふさわしい応答をするように、招かれてゆきます。

ある大学で、ノンクリスチャンだけの「エッセンシャルズ」グループがいくつか始まりました。そのような状況であれば、4 Facts (イエスについて) から始め、4 Walks に戻るなどしたら良いでしょう。他の伝道バイブルスタディから始めて、4Walks に入ることもできます。

自分の大学で「エッセンシャルズ」を使うべきか、どのように決めることができるでしょう？

以下の質問が、今、「エッセンシャルズ」を使うことが自分の大学にあるかどうかを決める助けとなるでしょう。

- 1、倍加はどのくらいうまくいっていますか？学生達がオーナーシップを持ってミニストリーをしており、そのオーナーシップを他の学生達に渡せていっていますか？（もし、「あまりそうではない」のであれば、「エッセンシャルズ」は、特にあなたの助けとなるでしょう。）
- 2、あなたの今あるミニストリーで、以下のものがどのくらい見られますか？
 - ・ 祈りの強調？
 - ・ 何人かの強い学生リーダーたち？
 - ・ 全ての小グループ戦略のために訓練を与えたり、支援したりするのに十分なスタッフがいる？
 - ・ 全く異なるものにチャレンジする柔軟さ（オープンさ）が、スタッフチームや学生リーダー達にある？
 - ・ （もし、上記が多少なりとも強みであるなら、「エッセンシャルズ」戦略をうまく導入することができるでしょう。）
- 3、あなたの大学のすみずみまで浸透し全ての学生に届きたい、というあなたの情熱はどのくらい強いのですか？（もし、とても強いなら、何か新しいものを実行しようするときに起こる避けられない妨げを克服することができるでしょう。「エッセンシャルズ」は、あなたの大学ですすでにある

自然な人間関係を通して、伝道と弟子訓練が流れてゆくことを促進させるようにデザインされています。このウイルスのような広まりは、段々と全ての学生に触れてゆくのです。)

- 4、あなたとあなたのチームメンバーは、「エッセンシャル」を使い始めるよう神が導いておられかどうかを祈り、そのように感じていますか？（あなたの大学でほかの主要な強調以上に、神さまが、心にはっきりさせてくださいますように。）

少し違った見方をしてみましょう。「エッセンシャルズ」は、以下のようなミニストリー／ムーブメントの他の要素を含む全体の戦略と調和するとき、最善に用いられることを知ってください。例えば・・・

- 1、ミニストリースキルのための、具体的な、補足訓練。

「エッセンシャルズ」は、例えば、個人の証をどのように準備するか、KGPの使い方、あるいは若いクリスチャンがなかなかやめられない罪に対処するカウンセリングの代わりにはなりません。これらのためには、「エッセンシャルズ」の新しい小グループリーダー向けの訓練で詳しく話すことができるでしょう。

- 2、モーメンタムになるイベントや、他の活動。例えば毎週の集会や、特別な伝道の強調。
(新入生向けサバイバルキットや、アンケート)
- 3、秋のリトリートや、クリスチャンカンファレンス、伝道旅行。

言い換えれば、「エッセンシャルズ」シリーズは、クリスチャンライフとミニストリーのDNAを頭と心にすばやく焼き付けることをします。学生から学生へと、ミニストリーのオーナーシップを渡すことを促進します。けれども、ムーブメントを築くための、他の大切な要素の代わりにはなりません。

「エッセンシャルズ」を新しい強調として、どのように打ち出すのでしょうか？

「エッセンシャルズ」シリーズを紹介すると、時々、CCCにしばらく関わっている上層部から反発をまねくことがあります。このアプローチが、講義形式でバイブルスタディを導くこととは、全く異なるからです。

変化に対する何らかの初めの抵抗は、驚きに値しません。それは人間の自然な反応です。しかし、「エッセンシャルズ」への完全移行を順をおって進めるなら、過度の抵抗を避けることができるでしょう。UCFで、当時バイブルスタディで会っていたグループがたくさんありましたが、私たちはその中のたった二つのグループから始めました。けれども、二人の「エッセンシャルズ」のリーダーは、その大学のCCCでよく尊敬され、影響力を持っていました。

二つの学期が終わる頃には、神さまは目を見張る成功をもって祝福してくださいました。学生の数とグループの数は、急激に成長したのです。その話は、他のグループリーダーに広まりました。そうしているうちに、私たちはこのシリーズがもっと効果的になるよう改善してゆきました。

次の秋、この戦略をやり始めてみる時が来たとき、キャンパスディレクターは、新しいグループリーダーのために特別な訓練の時をもちました。彼らが今までやっていたグループスタイルとは違って、どのようにこれをやったらいいのかを的確に見せてあげました。(そうでなければ、彼らはこれまでの

講義のようなアプローチを続けていったでしょう。) 同時に、彼らからの質問や気がかりなことに答える時間も与えられました。

今ある大学の働きの中で、同じようなアプローチを用いることをお勧めします。

- a、影響力のある数人のグループリーダーに、一学期間かもう少しの間、紹介する。
- b、その間に、あなたの大学でどのように的確に実行することができるか、細かい点や改定版を苦勞して作り上げる。
- c、このシリーズの働きについての話を、あなたの状況の中で自然に広がってゆかせる。
- d、よい訓練と、Q&Aの機会と一緒に、広範囲でこの戦略を使うように打ち出す。
- e、神さまが超自然的に、全てにおいて、神の目的を達成してくださるように祈る。

もし学生達が「シンプルすぎる」と思ったら、どうしますか？

今いる学生リーダーたちを動機付けて一緒にやろうとしてゆく時に、彼らはおそらく信仰についてのいくつかの「高等な概念」に接してきたことを認めてください。また、新入生アンケートに答えてくれた新入生たちの多くは、良い教会のユースグループや、超教派の高校生ミニストリーなどに、すでに接してきているかもしれません。だから、このようなタイプの人々にとって、「エッセンシャルズ」はちょっとシンプル過ぎるのではないか、もっと言えば「ふさわしくない」のではないかと思えるかもしれません。その点において、以下のことが、「エッセンシャルズ」の目的と価値を説明するあなたの助けになるでしょう。

- 1、「エッセンシャルズ」シリーズは、生活への適用を強調しており、興味をそそるような入り組んだ新しい真理を提示するものではないと認める。

疑う余地のない確信、赦し、聖霊の満たしなどはシンプルな概念です。しかし、それらはクリスチャンライフを送る上で、本当にきわめて重要な真理です。ビル・ブライトがこれらを必須の強調点にすると決意した理由は、一般的に、クリスチャンがこれらをあまりよく理解していなかったり、適用していなかったりしたからです。ビル・ブライトは、例えば、多くのクリスチャンは死んだら自分が天国へ行けるかどうか確信がないことに気がつきました。神に赦されていると感じていませんでした。どのように聖霊の力を、自分の人生に、ふさわしく用いるか知りませんでした。

別の言葉で言えば、「シンプルすぎる」という印象は新しいことではありません。私の観察によると、適用の必要はまだそこにあります。クリスチャンの思い違いは、「深い」概念に関してよく起こります。信仰歴が長くいろいろな経験をしているクリスチャンは、もっと深くに行きたがります。それは良いことです。けれども、大体の場合、深さを求める真の必要は、より高く入り組んだ真理に関するものではありません。多くの人々の真の必要は、シンプルな真理を自分の心と生活に、もっともっと深く浸透させてゆくことなのです。

- 2、それなので、初めからグループメンバーに「高等な真理」よりも、「人生が変えられること」を一番楽しみにするよう励まします。

以前こういう言葉を聞いたことがあります。「私は、聖書について自分が何を知らないかをそれほど気にしない、気にするのは自分が知っているのに適用していないのは、何かということだ。」だから、あなたのメンバーメンバーもこうであるべきでしょう。

聖書自身も、その書かれた目的について何と言っているか、よく考えてみてください。

「聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。」2テモテ 3:16 (新改訳) これら四つの要素のうち三つは、聖書の真理を私達の生活に取り入れてゆくことに関係していることに、注意してください。言い訳せず、みことばに対する応答としてとる行動によって、神を喜ばせようとしてゆくように、グループメンバー達に呼びかけてください。「また、みことばを実行する人になりなさい。自分を欺いて、ただ聞くだけの者であってははいけません。」ヤコブ 1:22 (新改訳)

3、この真理はあまりにシンプルすぎると皆が思っ、その聖書箇所ディスカッションが弾まないときには、最初の質問を飛ばしてAPPLYの最初の質問に入ってください。

理論的なディスカッションをやめて、実際的なディスカッションに入ってください。こう聞いてみてください。「このシンプルな真理を、私達が適用してない時があるのはどうしてなんだろうね？」言い換えれば、「神さまがこんなにはっきり教えてくれていることに私達に従ってゆくの、邪魔してるものは何だと思っ？例えば、私達の状況とか優先順位とか考えてみて・・・」これらの質問によって、あなたのグループのディスカッションは、生き生きした現実的なものになるでしょう。

4、「エッセシャル」シリーズについての説明の仕方を工夫してみてください。

先に述べたように、「エッセシャルズ」に対して間違っ、期待を与え、失望を招きかねません。「スタディ」という言葉を使うと、「高等な」あるいは「複雑」という印象を与えます。人々を誘うときに「バイブルディスカッション」とか「霊的なことについてのディスカッション」と言っ方がいいでしょう。霊的な真理についてのディスカッションに、真剣にちゃんと参加して集中し始めると、彼らは何のために来ているかはっきりと悟るようになってくるでしょう。

5、さらに、このシリーズは他の人に仕えるために、さらには霊的に倍加するためにメンバーを整えるという点を強調して下さい。

エペソ 4:1 1-1 2に、クリスチャンに仕える（伝道者や教師などの）目的は「聖徒を整えて奉仕の働きをさせ」とあることに注意してください。「エッセシャルズ」シリーズは、まさにそのことを助けるようにデザインされています。すぐにあなたのメンバー全員が、自分の学んだことを他の人に話すように求められます。それが、ミニストリーの働きのために整える始まりなのです。

どのように二世代目のグループが始まることを助けられるでしょうか？

数週間が過ぎる頃、グループリーダーはメンバーたちに彼ら自身のグループを導くことを励まします。誰かが「やります」と言ったら、グループリーダーはそのためにその人を整える機会をもちます。本

当に神に用いられたがっているメンバーは、他の人に仕えることに自分が用いてもらえると想像すれば、わくわくするはずです。

「エッセンシャルズ」をいくつかのキャンパスで実験した経験から、二世世代目のグループがどんどん成功してゆくための価値ある教訓が、いくつか明るみに出てきました。

1、選別と、最初の支援

グループメンバーを倍加するよう励ましたいと同時に、彼らにそれをする能力があるかどうか用心深くあります。UCFでの経験から、次の世代に引き継がないグループの主な原因はリーダーたちが「人集め」ができないことだ、と見えてきました。全ての人が、自分の友達や知り合いを霊的なディスカッションに招くのは簡単だと思っているわけではないのです。おそらく、それらの問題の解決は・・・

- a,より入念に選択し、自然な「集まり」を選ぶ。
- b.グループを編成する時、スタッフや経験豊かな学生リーダーの助けをかりる。
- c,グループを開始するとき、興味を引く小さなイベントをする。
(例：食事を用意したり、面白いビデオの1シーンを用いる)

2、現場の訓練

「エッセンシャルズ」の成功と明らかに相互関係にあるのは、特に第一回目のレッスンの模範を見せることを含めた現場の訓練です。実のところ、新しいグループリーダーが（模範を含め）質の高い訓練を受けると、彼らは良い経験をしました。彼らのグループは、もっとよく学生を再訓練し、セッションについてより前向きなフィードバックをしました。あまり現場の訓練がない状況は、失敗しがちでした。

3、フォローアップと励ましをし続けること

フォローアップと励まし無しには、以下の二つの重要な行動はなかなか生じませんでした。

- a,グループリーダーは、メンバーに自分達のグループを持ち始めることをよく考えるように、いつも励ましていたわけではなかった。
- b.グループリーダーは、セッションアウトラインのAPPLYやTELLをやろうとしなかった。

両方の場合から、リーダー達に「エッセンシャルズ」シリーズを使っている理由は霊的倍加を励ますことであると思わせるのがスタッフにとって重要事項となりました。もし、新しいグループを形成することをよく考えるようメンバーに頼まなかったら、倍加は起きにくいでしょう。もし、グループのディスカッションを、生き方が変えられそれを分かち合う方へと導かないなら、倍加は起きにくいでしょう。

言い換えると、「エッセンシャルズ」シリーズは、バイブルスタディの教材セットの代わりになる以上のものです。霊的倍加のDNAが、その中に作りつけられているのです。

特に最初に始めるリーダー達のためには、概念を理解するために、繰り返し説明し動機付けることが

助けとなるでしょう。

4、新しいリーダーにチャレンジするのを励ますこと

UCFの経験から、私たちは可能性のある新しいリーダー達が、自分のやろうとすることに関する良質なビジョンを受け取ることがとても助けになると発見しました。ディビッド・ペゾーリ（UCFのキャンパスディレクター）は、第一世代のリーダー達が二世世代目のグループを導くことをよく考えるように、彼の家で集まりを主催しました。

これらの考えは、あなたが二世世代を始めるのに助けになるでしょう。もちろん、神さまだけが霊的ムーブメントを起こすことができます。それなので最後の大切な考えとして、学生達の心と思いに神の霊が力強い方法で働いてくださるよう、祈りで一致することを、スタッフと学生達に励まします。私たちの努力を神が受け取って下さり、超自然的に倍加して下さることを私たち一同ぜひ見たいと願っています。（17 ページの祈りの提案を見てください。）

グループリーダーが、自分のグループに人を連れてくることをどのように助けられるでしょうか？

1、彼らに祈るように励ましましょう

祈りは活動以上に大切です。先に述べたように、神さまだけが霊的倍加のムーブメントを起こすことができます。一方で、新しいリーダーは自分のグループに人を惹きつけるよう働かなければなりません。他方では、リラックスして神に結果をおゆだねする必要があります。祈りがそうすることを助けてくれるでしょう。

新しいリーダー達は、個人的に祈る必要もありますが、祈りのパートナーとして他の新しいリーダーと協力したいかもしれません。祈り課題とその答えの分かち合いを容易にするため、フェイスブックのグループを設定するのも良いでしょう。

2、自分の話しかける人々を動機付けられるように準備するのを助ける

- a、「エッセンシャルグループは、自分にとってものすごく大事なものとなったんだ。なんでかって・・・」
- b、「エッセンシャルズグループは、あなたのクリスチャンとしてのインパクトをどんどん大きくする助けになるよ。」（強いクリスチャンをチャレンジする時に使う）
- c、「私たちがしてしまった間違っただけに対して、神の赦しをどうやって体験できるかについてディスカッションするんだ。」
- d、「人生を送る中で、どのように神の力を自分のものとするかについてディスカッションするんだ。」

3、（自分の周りにいる）「四つの輪」の人々を、理解することを助ける

- a、一つ目の輪—「クリスチャン」の友達
日頃からよく一緒に時間を過ごしていて、クリスチャンのことに関心がある人々
- b、二つ目の輪—「ノンクリスチャン」の友達
日頃からよく一緒に時間を過ごしているが、クリスチャン活動にまだ関心を示していない

人々

- c、三つ目の輪－「クリスチャン」の知り合い
(授業やサークルで) 会ったことがあり、クリスチャンのことに関心を表している人々
- d、四つ目の輪－「ノンクリスチャン」の知り合い
会ったことはあるが、クリスチャン活動に関心を表していない人々

最初の二つの輪は、友達です。「うん」と言う可能性がとても高いでしょう。三つ目の輪も、クリスチャンのことに関心があるので、「うん」と言う可能性は高いでしょう。四つ目の輪は広範囲ですが、誘ってみるまでどうかは全く分かりません。

- 4、「うん」という一つ目の輪の人々に、彼らの友達や知り合いを招かせる
- 5、最初のセッションを特に楽しく、魅力的なものにする
 - a、特別なスナックを出す
 - b、後でボードゲームで遊ぶ
 - c、アルティメットフリスビーなど参加型スポーツアクティビティ
 - d、他の「エッセンシャルズ」グループと一緒に何かをする

既に自分のグループを始めたグループリーダーを支えるためどんなアドバイスが可能でしょうか？

もちろん、あなたができる最大のことはグループと、リーダーのために祈ることです。本当にいろいろなこと一多すぎる他の活動、彼女、彼氏との不健全な関係、自分は不十分だという思いなどが、邪魔しに入ってきます。神様が彼らを守り、備えてくださるよう祈りましょう。

また、相談に乗ったり弟子訓練するように備えましょう。もちろんすでに行なっているとは思いますが、いざ学生がグループを導こうとすると、必要が増えてくるのです。グループリードについて話し合う際、以下のポイントを強調するのは大切です：

- 1、学習を促す VS レッスンを一通りこなす
 - a、時々HEAR の一つの聖書箇所を扱うだけで、あなたのグループが刺激され延長した生き生きとしたディスカッションになることがあるでしょう。その最後には、別の聖書箇所をディスカッションするよりも、おそらくすぐ APPLY や TELL に進む準備ができています。別の時には、二つか三つの違う箇所が同じポイントに達するまでに必要かもしれません。もし必要ならば、あなたのメンバーの理解を高めると思う、別の聖書箇所を加えてもらっても構いません。
 - b、グループディスカッションアウトラインの、HEAR にある一般的な質問は、考えることを促し、皆が参加できるようにデザインされています。あなたとあなたのグループを助けるために、それらの質問があります。けれども、もしディスカッションがあまり盛り上がりなかつたら、もっと具体的な質問を自由にしてください。例えば「この箇所には、〇〇って表現が使われているよね、どうしてだと思う？」とか、「これって、ずばり、どういう意味だと思う？」

とか。

- c、グループリーダーに、セッション準備チェックリストにある「代わりの質問」を使うことで、より学びが深められるなら、そうするように励ましてください。
- d、グループメンバーに合わせて、彼らがより快適に、参加できる環境を作ってください。外交的なメンバーたちなら活発なディスカッションを、控えめで思考型のメンバーたちならしばらく考える時間をあげ、みことばの知識の豊かなメンバーなら、理解を深めるために並行する別の箇所を加えてあげるなど。

2、リーダーズガイドの APPLY や TELL の部分をとばさないように。

- a、この2つこそ、あなたのグループが霊的ムーブメントへと変えられてゆく鍵になる部分です。聖霊の力によりクリスチャンの生活が変えられてゆけば、ノンクリスチャンはそれに気がつき、神との関係にもっと興味をもつようになります。クリスチャンが、イエスに従う中でどんなことを学んでいるかを話せば、この効果はさらに増大します。

もしこれらをとばしたら、あなたはただ単にもう一つのバイブルスタディをしているだけになってしまいます。

- b、あるキャンパスミニストリーの、夏の短期宣教チームが、小グループでエッセンシャルズを使いました。学生達からの以下のようなコメントが届いています。
 - (1)自分の日々の生活に簡単に適用できる、価値のあるレッスンを取り出すことができると思う。学びから励まされて、毎週小さな適用をしてゆけば、一生涯、変えられてゆくことを見ることができんだということが、よく分かるようになった。
 - (2)この学びには、適用と、学んだことを「話すべき相手」があることが好き。学んだことを、どう実践したらいいか分からず、バイブルスタディから離れて歩んでいるクリスチャンがよくいる。学んだことを適用すると同時に、互いにアカウンタビリティを取れるから、素晴らしい。

3、大半のグループでは、各メンバーのクリスチャンとしての成熟度に様々な度合いのあることを自覚する。

- a、それなので、教材をいくつか調整する必要があるかもしれません。
- b、より成熟しているクリスチャンには、彼らの経験という富を、ディスカッションの中に持ってきてもらうよう、期待しましょう。彼らに「こんなの、以前にもう学んだよ」と言わせる代わりに「このことを自分も扱わなければならなかったんだ、克服することでこんなことを学んだよ。」と分かち合ってもらいましょう。
- c、必要なら、人々を引き込み、もっと深いレベルまで考え、さらにアイデアを出すような、聖書箇所に関連するいくつか他の質問もしてみましょう。
- d、さきほどの夏の短期宣教チームは、上記のようにエッセンシャルズを微調整しました。学生達の反応です。
 - (1)多くを学んだ。時々、この概念は単純だと思っても、掘り下げてみると、そこから学ぶ

ことは本当にたくさんあると気付かされた。

(2) エッセンシャルズの形式はすごく他と違って、より参加型になっている。

(3) バイブルスタディから何かを得るためには、喜んで深いところまでいかなければならない。

表面だけすくい取って、短絡的な答えに結び付けられない。自分の生活に関連させるところまでいかなければならない。

4、リーダーズガイドに表示されているように、適切な時に、イエスを受け入れることや、御霊に満たされることをメンバーたちにチャレンジしてください。私の経験からは、「どうやって」イエスを受け入れるか、御霊に満たされるかを分かち合う前に、それらに関する自分の証を含めることをお勧めします。

5、倍加を目指していることを忘れない

a、このシリーズの最初の四週が終わるまでに、あなたのグループメンバーの何人かは、彼ら自身のグループを作るべきだ、という考えが植えられます。あなたとやっている「エッセンシャルズ」シリーズが全部終わるまで、待たなくてもよいのです。エッセンシャルズの中の「セッションの導き方」の、MULTIPLY に詳しく書かれているので、読んでください。

b、あなたのグループの結果として、何をしたいか夢を描いてください。メンバーの1人は、友達を集めて新しいグループを立ち上げるかもしれません。その彼らのグループの中から、第三世代のグループを始める人が出るかもしれません。

c、しかし、これが起こるためには

(1) 神さまがそうしてくださるよう祈る必要があります。神ご自身が、もっと多くの人々が他の人に仕えることに関わってほしいと願っていることを覚えてください。

(2) シンプルであり、伝達可能であり続ける必要があります。そうでないと、人々は「自分にもできる」と思えないからです。

(3) グループメンバーの新しいグループを立ち上げたいという試みを支援するため、彼らと身近に働かなければなりません。解決しなければならない、チャレンジが出てくるでしょう。

6、24セッションを、4週ずつの6つの部分に分けましょう。

a、今日の学生達は、12週や24週に比べ、4週間のコミットメントに対しての方が、「はい」と言いやすいからです。

b、けれども最初の4週が終わったら、続きの4週の内容や益となることの特徴を説明し呼び集めてください。最初の4週が好きだったら、メンバーたちは喜んで次の4週にも戻ってくるでしょう。4週目の最後には、毎回、次の4週について言及することを忘れないで下さい。

グループリーダーの準備と、セッションが成功するために役立つ良いガイドラインは何ですか？

中央フロリダ大学で、ディビッド・ペゾーリと私が二世代目について話していた時、新しいグループリーダーのために、セッションを準備するガイドラインを整えるのが良いという結論に至りました。新しいリーダー達は一年生でありほとんどの場合、バイブルディスカッショングループを導いた経験がありませんでした。それに加えて、第一世代に比べ、二世代目のグループにノンクリスチャンがもっと参加しているようでした。

その結果、リーダー達はグループディスカッションアウトラインになじむ必要がありました。よくなじんでくると、アプローチの裏側にある原則や、単純で、思考の流れのスムーズな、ディスカッションの方法が理解できるようになってきました。以下は、準備のガイドラインとチェックリストです。助けになるでしょう。

セッション準備のためのガイドライン

PRAY

神さまだけが、本当に成功したセッションになるよう、あなたを力づけることができます。具体的な準備に取り掛かる前に、祈る時間を取ってください。メンバー1人1人のためにも、祈ってください。

- 1、このセッションに出られるように。
- 2、ディスカッションからの理解が神さまによって助けられるように。
- 3、主要なレッスンから、今週、何か具体的な適用ができるように。
- 4、今週、学んだことを、誰か別の人に分かち合うことができるように。

CONNECT

述べられている真理を、あなたがどう体験してきたかを伝えることのできる、適切な個人的な例話を準備してください。バイブルディスカッションへのこのような「導き」は、意見を討論するのではなく、体験を分かち合うように意図されています。その体験談から、そこにいるほとんどの人が、その真理を認めるような雰囲気を作り出されるべきでしょう。そうすれば、「つまり、神様との関係にも（クリスチャンライフにも）同じことが言えるんだ」と述べることによって、**HEAR** へもっと簡単に導けます。

CONNECT の部分から、あなたのグループメンバー達が、霊的にどこにいるかを見定めることもできます。メンバーの多くがノンクリスチャンの場合、セッション全てにおいてもっと説明を含めるべきでしょうし、祈りの時間などに敏感になる必要があるかもしれません。

HEAR

使う聖書箇所を何回か読んでみてください。セッション準備チェックリストにある「代わりの質問」を使うかどうか、よく考えてください。グループディスカッションアウトラインにある、標準の三つの質問より、もっと使いやすいかもしれません。他の質問を加えたらいいか、あるいは別の質問に置き換えたらいいかなど、自分自身に聞いてみてください。例えば、もしあなたのメンバーの多くがノンクリスチャンだったら、「この箇所で、意味のわからないところが、どこかある？」など質問し、彼らが適切に理解しているかどうかをはっきりさせるべきでしょう。

この聖書箇所には、この質問を使うというように、あらかじめ決めておくことは助けになります。そうすればディスカッションを導くのがもっと簡単になるでしょう。

APPLY

適用は、**HEAR**のディスカッションから直接流れてくるべきです。例えば、「確信して歩む」のレッスンなら、このように言うことができるでしょう。「セッションの最初にディスカッションした、『人

との関係は受容と信頼によって育まれます』ということに私たちは同意しました。これには、神との関係も含まれます。聖書に関連したディスカッションから、神はご自分と関係を回復した人々を本当に愛し、受け入れてくれていることを、見ることができました。だから、『自分と神との個人的な関係に確信をもつ』というのは、きわめて大切なことです。」

次にくる論理的な質問は、こうです。「神さまとの個人的な関係にときどき確信が持てないのはなぜでしょう？」

各セッションには、このような単純な思考の流れが組み込まれています。あまり物事を複雑にし過ぎたり、支離滅裂にしないように。ディスカッションが、初めの段階から次の段階へと流れてゆくようにしましょう。グループメンバーたちに「やってみたいアクション」を書かせ、それについて分かち合い祈り合ってください。（あなたも個人的な例を分かち合うといいでしょう。）生活が変えられることによって、続けて成長したい、他の人にもキリストについて話したい、という動機が強められるでしょう。

TELL

同じように、メンバー達が学んだことを、グループ外の人に話すよう計画させましょう。多くの人々が、友達に霊的なことを話すのに、初めはなんらかの躊躇を感じるということを入れてください。しかし、そのような単純な会話が、あなたのメンバーたちの友達のネットワークに福音が広がってゆくのを助けるのです。

OVERALL

毎週、ことあるごとに自分自身に聞いてみてください。

- 1、このグループの関係がもっと強められるために、何か他に自分ができることはあるだろうか？（例えば、今週はいつもの教材の学びはお休みして、何かグループの活動をするのに、良い週だろうか？）
- 2、グループの中で、彼／彼女自身のグループを始めるよう、誰にチャレンジできるだろうか？（そのことについてその人に話す時間を計画する。彼／彼女に、あなたのセッションの一部を導いてもらい、リーダーズガイドを知ってもらう。）
- 3、グループの中に、キリストを知らなそうな人は誰だろうか？（祈り、その人にキリストを分かち合う機会をうかがう。）

セッション準備チェックリスト

PRAY

- 知恵が与えられるように祈った。
- グループメンバーのために祈った。

CONNECT

- 分かち合うための適切な個人的例話を用意した。

HEAR にいつどのように移行するかを考えた。

HEAR

1つ目の聖書箇所 _____

代わりの質問 _____

その他の質問 _____

2つ目の聖書箇所 _____

代わりの質問 _____

その他の質問 _____

3つ目の聖書箇所 (任意) _____

代わりの質問 _____

その他の質問 _____

APPLY

HEAR から APPLY にいつどのように移行するかを考えた。

具体的なアクションステップをとれるように促す準備をした。(例を用意した。)

TELL

そのままではやりたがらない彼らを励まして適用できるようにさせたいと思う。

メンバーが気軽に「分かち合う」ことを願っている。彼らはじきに自分自身のグループを上手に導くだろう。

「エッセンシャルズ」アプローチに関して、時折起こってくる反対にどう答えたらいいのでしょうか？

反対1 「第一世代グループの学生の多くは、自分のグループを導く準備がまだ出来ていない。」

その通りです。UCFで「エッセンシャルズ」を使った最初のグループを観察した結果気付いた点からお話ししましょう。第一世代のグループメンバーの1/3が昨年すぐに、自分のグループを始めようとなりました。言い換えると、ほとんどのグループメンバーは、すぐにはスタートしなかったのです。なぜでしょう？いくつかの考えられる理由は：

- a、神さまからのビジョンや召命がまだなかったから。
- b、自分のライフスタイルと、聖書の基準との間に、一貫性がなかったから。
- c、グループを司会進行するのが、心地よくなかったから。
- d、キャンパスで、CCCの他の活動にもっと参加するべきだと感じていたから。

残念ながら、多くが「やりません。」と言ったことが、私たちの期待に悪い影響を与えることができます。ミニストリーで、私たちへのチャレンジは、「できないし、やらない。」という人々がいることによって「できるし、やりたい。」という人々までも制限してしまわないようにすることです。

たくさんの学生達が、私たちが彼らにやらせるよりも、もっと早く仕える働きができます。最終的に第一世代のグループメンバーの多くが、「やります。」と言いました。なぜでしょう？おそらく・・・

- a、グループを導くという考えが、彼らにとっても魅力的でした。たぶん、神は彼らに教える賜物を与えているのでしょう。
- b、神が目覚しい方法で、その時彼らの生活の中で動いていました。彼らは神を喜ばせる方法を探し、神の導きに応答しました。
- c、彼らの信仰は、かなり成熟していて、同世代のグループを導いた経験さえありました。
- d、私たちからのチャレンジと、「できる」という期待が、彼らを勇気づけ信仰の一步を踏み出し、この機会をものにしました。

ミニストリーの拡大は、神に仕えることに「はい」という人がどんな人かに決定的に左右されます。だから私たちは、他の人々に仕える働きのために、神が動機づけ、整えた人々を動員し「束縛を解く」必要があります。そうしないならば、それは不十分な管理です。

グループリーダー達は、聖書の注釈をしたり、講義をしたりすることを求められません。それらのことは、個人的な成長や訓練でより、要求されるでしょう。リーダー達は、単純にディスカッションを導くことを求められます。そして、グループリーダー達が、自分の学んだことを他の人に分かち合おうとする時、彼らはもっと深く真理を学びます。

「使徒の働き」のほとんどで、最も重要な宣教派遣基地がアンテオケ教会だったことに注意することは、為になります。二年以内に、彼らは救援の物や宣教師を送っていました。明らかに、比較的新しい信者達が、急速にかつ、効果的にミニストリーを任されていたのです。

反対2 「一年間で（三世代は言うまでもなく）二世世代目のグループを始めようとするのは早すぎると思いませんか？」

これに対する、主な答えは、急速な再生産は、たいがい効果的な霊的倍加に結びつくということを知ることになることです。

私は自分が最初に CCC に関わるようになった頃を、覚えています。他の人に対して仕える働きをするよう、すぐに励まされました。ボストン大学のフットボールの試合で、伝道雑誌を配布したり、カレッジライフ集会を導いたり、地域教会の伝道集会で話したりしました。自分がミニストリーをしたいと願い、またそうできるようになったらすぐに、「ミニストリーを任されること」でとても励まされました。

あとで私が発見したのは、全米の学生達が、できるだけ早くミニストリーや霊的倍加に関わり始めることを、同じように励まされていたのです。ある大学では、新しいクリスチャンが救われて一週間以内に自分の信仰を誰かに分かち合うのは当然のことと考えられていました。

デイビッド・ガリソンは、研修者であり、チャーチプランティングムーブメントの分野の専門家でもあります。彼は、成功しているチャーチプランティングムーブメントに、いつも見られる10の原則を観察しました。その一つが、「急速な再生産」です。以下は、「チャーチプランティングムーブメント」という冊子 (the International Mission Board of the Southern Baptist Convention 出版) からの引用です。

チャーチプランティングムーブメントで、急速な再生産の必要性をチャレンジする人はいるが、全てのチャーチプランティングムーブメントの証拠を質問する人はいません。これらのムーブメントに関わっているチャーチプランナーのほとんどが、急速な再生産こそが、ムーブメントそのものに不可欠だと、主張しています。再生産の比率がゆっくりになれば、ムーブメントは弱まると、報告しています。急速な再生産は、キリストへの信仰に来ることが、どれほど緊急で大切であるかを物語っています。急速な再生産が起こり始めると、教会はあまり重要でない事柄に邪魔されず、一般信徒が完全に力を受けて神の働きに参加してくると、確信を持てるでしょう。

反対3 「誰も講義しないのであれば、どのように聖書的真理を理解し、適用することができるのでしょうか？」

そうですねえ。「エッセンシャルズ」のアプローチには5つの教える要素が組み込まれていることに気づく必要があります。講義なしには、真理が何も伝わらないと考える誘惑が私たちにはあります。実際には、教える方法の中で、講義が最も強い方法ではありません。

「エッセンシャルズ」の5つの教える要素はこれらです。

- 1、みことば みことばが、学びの究極な、信頼できる源となるように、特徴づけられています。2テモテ3:16で、聖書の目的はまず「教え」のためだと書かれています。
- 2、聖霊 神が知恵を与えてくれるように、各セッションの初めに祈るよう、励まされます。1ヨハネ2:27「あなたがたのばあいは、キリストから受けた注ぎの油があなたがたのうちにとどまっています。それで、だれからも教えを受ける必要がありません。彼の油がすべてのことについてあなたがたを教えるように、—その教えは真理であって偽りではありません。—また、その油があなたがたに教えたとおりに、あなたがたはキリストのうちにとどまるのです。」
- 3、他の人の体験 今日の大学生は、聞くことによって、特に自分の友達たちから、学ぶことを好みます。他の人が、その意味を考えたり、適用しようと取り組んでいる姿を見ることが、力強い先生となります。
- 4、適用すること 聖書的真理を、どのように適用するかを見つけようとする、その真理の意味と、実際にどう使えるのかをもっとよく理解できるようになります。
- 5、他の人に話すこと 何かを本当に理解するための最善の方法の一つは、誰か他の人に、そのこと

について説明してみる事です。私たちは、聞いただけのことよりも、自分が話したことの方をもっとよく覚えるものです。

「エッセンシャルズ」グループを始め、支える助けとなる祈り課題は何ですか？

- 学生達が、「エッセンシャルズ」グループを、神のきわめて重要な真理と適用を成長させられる素晴らしい場として、そして、他の人を通して神を体験する素晴らしい場としてみるように。
- 学生達が、好奇心をもつようになり、神に明け渡し、頼ることを学ぶことから顔を背けないように祈りましょう。そして、各グループが神に自分達をつくり変え整えてもらえるようにしていただき、神との信頼関係を深める場となるように。
- グループリーダーによって、聖書の真理が伝達され、模範となるように。
- グループメンバーや他のメンバーを通して、学生達が神の愛を見て、体験するように。
- 学生達が、人生でチャレンジがある状況においても、勇気を失わないように祈りましょう。かえってそれ試練ゆえに、神が栄光を受け、彼らを通して神が知られるようになるように。
- 学生達が「エッセンシャルズ」シリーズを、神に栄光を帰す方法として見て、彼らの人生やキャンパスで神が知られることとなるように。
- グループ内の学生達が、自分達のグループを形成したいと動き始めるように。
- 学生達が、神は私たちに「規則を与える」よりもはるかに、神ご自身との関係を与えようとしていることを学べるように。
- 新しい学生が、神についてもっと学ぶため、グループに引き寄せられるように。そして、ディスカッショングループを、神への信仰を探検するための安全で脅威のない場として見る事ができるように。
- 聖霊の臨在と備えによって、それらの学生達が神の真理、愛、救いをキャンパスで他の人々に分かち合う者と変えられるように。
- 「エッセンシャルズ」グループがムーブメントの結束に貢献するように。この結束が、関わっている人々のケアし合うコミュニティを作ることと、ムーブメントに他の人々を引き寄せることを助けるように。

要約と最後の言葉

さて、ここまでたくさんことを学びました。おめでとう。おそらく、まとめとして最善なのはエッセンシャルズ戦略の中であなたがスタッフとして果たすべき役割を、要約することでしょう。本質的には、あなたは霊的ミニストリーと倍加に、学生達を動員してゆくのです。あなたができる最も大切なことは、以下のために祈る事です。

- 1、知恵のために。
- 2、ふさわしいリーダーのために。
- 3、ふさわしいグループメンバーのために。
- 4、準備とディスカッションの時間のために。
- 5、生活への適用のために。
- 6、そのことについて、他の人に話す機会のために。
- 7、第二、第三、そして後に起こる世代の倍加のために。

祈りに加えて、あなたが「派遣」の過程をお膳立てする者として果たすべき三つの主要な責任があります。

- 1、動機づける
- 2、訓練する
- 3、支える

本質をより理解すれば、このガイドで読んできたことを全て理解し、実行するのはもっと簡単になるでしょう。

動機づける

なぜこのことが大切なのかを、学生たちは見る必要があります。キャンパス全体に、伝道と弟子訓練が広がってゆくのを見ることこそ、断固として中心をなすことだ、ということを見るべきです。動機に影響を与える心配事などを、彼らは心に抱くかもしれません。それならば、あなたはそれらの心配事に答えてあげてください。

訓練する

ミニストリーに対する、きわめて基本的な CCC のアプローチは、どうやるのかを人々に見せ、訓練します。この戦略に例外はあります。エッセンシャルズの実験は、あなたが想像するとおりでしょう。つまり・・・

- 1、良い訓練があれば成功する
- 2、訓練がわずかだったり、なかったりすれば失敗する

支える

しかし、こちらからの動機づけや、訓練だけでは十分ではありません。祈り続け、挑戦している学生達といつも連絡が取れるようにしていなければなりません。彼らがよく助けを必要とする事柄は以下の通り：

1. 自らグループを集めること
2. エッセンシャルズのアプローチをし続ける vs 旧いやり方に戻る という葛藤
3. グループメンバーに自分自身のグループを始めるようチャレンジしてゆくこと
4. 次世代のグループを、どう祈り、動機づけ訓練し、支えるかを知ること

鍵となる質問は、もはや「あなたのグループに何人のメンバーがいる？」ではありません。そうでなく「あなたのメンバーに、いくつのグループがある？」なのです。これが、増加でなく倍加についてなのです。

けれども、勇気を出しましょう。グループリーダーたちが、いったん巻き込まれ、成功を見るならば、彼らは反対せず喜んで受け入れるようになるでしょう。このことは、UCF の初めの4人のバイブルスタディリーダー達に起こったのです。このアプローチを数ヶ月続け、成長と倍加を見たとき、彼らの1人は言いました。「こっちの方が、はるかに良い。もう、前のやり方には戻りたくないよ！」

私の究極的な夢は、あなたがあなたのキャンパスで、霊的倍加のムーブメントが、伝染して拡がってゆくことを見て、大喜びすることです。神ご自身が、私たちにこのことを促進するように召されたので、神はこれが現実になるために必要なリソースを与えてくださると信じています。「エッセンシャルズ」シリーズは、それらのリソースの一つです。しかし、他にもそのようなリソースがあり、またこれからも作られるだろうことは、疑う余地がありません。神があなたを用い、新しい世代の戦略や、あらゆる場所で霊的ムーブメントを建て上げことに必要な教材を開発し、私たちを助けてくれるだろうと、私は信頼しています。

あなたと共に、主に仕えることは、喜びです。